

一九三九年十月一日
一九三九年十月三十日

陣中日誌

獨逸隊第十五聯隊第九中隊

22200

作



十一月一日
水野重
伊伊比

二獨泥一五日命第九三號受領一		獨泥成第一五號命今拔萃	
陸軍上等兵佐藤	佐助	同	會田直
同	草野甚五郎	同	相樂一
同	渡部 榮	同	小林茂久
同	三浦義吉	同	鈴木彌江
同	佐原 彌		
陸軍兵長	命令		
陸軍衛生上等兵	安島 重雄		
陸軍衛生兵長	命令		
陸軍一等兵	白坂健吾	同	樺山喜七
同	菅 栄光	同	菅 栄文
同	遠藤三良	同	油井廣助

十月廿一日

同	菅家老若	同	鈴木徳一
同	菅野善之助	同	志賀正二
同	穂積誠	同	丹治興雄
同	真谷仁	同	齊藤直喜
同	佐藤留之助	同	橋本正雄
同	菊地武盛	同	山口勝雄
同	王川又信	同	本間勝彦
同	廣川正義	同	宮下秀治
兵精勤率ヲ附與ス (十月三十日)			
三水日、人員中隊長以下一二十八名			

十月廿一日、各中隊全員集合セシメ、獨泥一五日命第九三號ニ
ヨリ進級シ、兵精勤率ヲ附與者ニ對シテ中隊長ヨリ命

同	力丸五寛	同	
陸軍上等兵ヲ命ス		陸軍衛生上等兵廣野貞雄	
陸軍衛生上等兵ヲ命ス (十月三十一日附)			
陸軍上等兵	根不願市	同	大橋留治
同	菅野勝藏	同	狭山哲彌
同	廣川保治	同	瀬和重義
同	橋本利男	同	佐藤馨
同	須藤三男	同	鈴木初
同	柳内一	同	江畑章男
同	横山善太郎	陸軍上等兵	黒初雄
同	藤田忠雄	同	菊地一巳
同	清井忠重	同	佐川五郎
同	鈴木利男	同	長谷川長則

令傳達ヲナシタル後約五分を更り左訓示ヲ行フ
 (1) 進級者並ニ兵精勤章附與者ハ白頭努力ノ結晶ナリ
 (2) 進級者並ニ兵精勤章附與セラレシ者ハ之ニテ樂觀ス
 ルコトナク益々奮勵努力以テ軍人ノ本分ヲ盡スヘシ
 (3) 今更ニ進級ノ漏レル者モ此機會ニ發奮勇ヲ示シテ
 精シ努力セヨ

野局正ニ重大ナリ中隊ハ鉄石ノ團結ノ下ニ米英ヲ
 撃滅シ以テ大元帥陛下ノ大御心ヲ安ニ奉ルヘシ
 右ノ如ク訓示シタル後更ニ幹部ニ對シ約五分を更り要
 旨左ノ如キ訓示セリ

(1) 將校以下各幹部ノ指導監督適切ニシテ中隊ハ軍紀風
 紀其他諸般ニ亘リ概チ良好ニ維持セラレアルハ中隊
 長ノ最も欣ビトスルトコトナリ
 然シ現在ノ環境ニ鑑ミ今後左ノ点ニ留意ニ奉先

部下ノ指導ニアツルハシ

(1) 散離ノ虞兵 山住實必罰 山本武防止

(2) 上官ニ對スル意見具申 山中隊團結ノ俟成

(3) 向日令第七回 基ヲ少尉水野正五推嘉手

幼附近ニ去取ス

兵木田ノ人員中隊長以下一七名

十月廿日
 金座日記
 伊止野

(1) 七五五分中隊全員集合ヲ了ニ勅諭奉讀式ヲ舉行ス
 (2) 勅諭奉讀式終了後明治大帝ノ御偉業ヲ憶ヒ奉
 リテ中隊長左ノ訓示ヲナス
 (3) 本日ハ畏クモ明治大帝ノ御誕生遊ハカレタル日デア
 リ我々軍人カ皇土防衛ノ第一線ニ於テ此式由ヲ
 奉テ得ル事ハ最も光榮トスルトコトナリ

十月四日
上野
伊止島

一 軍人勲給ニ御諭ニ遊ハナルトコロノ義は山嶽より
重シ死は鴨毛より難クシト覺悟せよト仰コロレ
テアル時局ハ正ニ重大テアル故ニ特赦以下死生觀ヲ
超越シ以テ皇恩ニ酬ヘ奉ラキハナラス
二 午前夜地構築ヲナシ午後使ハ休務ス
四 本日人員中隊長以下一七名

一 訓練中隊ニ俾地構築ヲナス
二 〇七三〇約四分向ニ更リ第三小隊ハ對戰車攻撃ニシテ彈
ノ用法ニ関シ教育ヲ實施シタル後俾地構築ヲナス
三 〇八〇〇露艦營衛兵トシテ加藤任長以下五名服務ス
四 中等學校生徒ノ勤務奉仕一名ヲ受テ配屬工兵小
隊ト共ニ俾地構築ヲナサシム

五 本日人員中隊長以下一七名

十月五日
上野
伊止島

一 訓練中隊下士官以上地區隊本部前ニ集合シ地區隊長ヲ
リ隊團長ノ訓示傳達アリテ後地區隊長以下全員
一丸トナリ誓ツテ隊團長訓示ニ遵進スヘク決意
ヲ新クシセリ
二 〇七三〇約一時間ニ更リ下士官以上對戰車戰鬥ニ関
シ地區隊長ヨリ教育ヲ受ケ
三 〇八〇〇約五分向ニ更リ下士官以上ニ對シ中隊長ヨ
リ隊團長並ニ地區隊長ノ訓示並ニ諸注意ニ基キ
之ヲ具體實行對策トシテ左ノ如ク要望ス
一 職務ノ存スルトコロ進ニテ應局ニアクルヲ唯一ノ樂
シमितスヘシ

警察制十九行勅令ニ於テモハス命令ヲ因襲シ直ニ
 實行スヘシ之ヲ爲幹部ハ先立充テ兵ニ對シ
 テハ實行ヲ監督シ一任各ニ必ク實行報告ヲナス
 ヲ習使タラシムヘシ
 四、公私ノ別ヲ明カニシ苟モハ公務ノ爲ニハ万事躊躇
 スルコトナク固執ヲ違成セヨ
 五、長上ノ命令意圖ハ即チ大元帥陛下ノ命令ナリ
 命令意圖ノ違延ハ不忠極マル者ナリ
 四、四、四、中隊ハ俾地構築ヲ續行セリ
 五、中等學校生徒ノ勸勞奉仕九名ヲ受ケ配屬ニ兵
 小隊ト共ニ陸地構築ヲナス
 六、二、三、警備ニ分建中ノ校生中隊事務連絡ノヲ
 係シ一之、三、四、歸隊ス
 七、二、三、三、警備警報發令

七月六日
 伊之島

八、本日ノ人員中隊長以下一、二、八、名
 九、水際各少尉嘉手納村近ニ出張中トテ歸隊ス
 一、二、三、三、中隊ニ於テ夜ニ陸地構築警備以下ニ陸地構築ヲナス
 二、中等學校生徒七名及伊之島村民二十六名ノ勸勞奉
 仕ヲ受ケ中隊ニ配屬ニ兵小隊合入ノ將兵ト共ニ陸
 地構築ヲナカシム
 三、二、三、三、警備警報解除
 四、頭ニ於テ備五小隊長以上ノ會同實施カレ校生
 中隊之ニ出席ス
 五、西日命第七、八號ニ基テ中隊山寺久吉事務連
 絡ノタメ名簿簿長兵分駐所ニ出張ス
 六、本日ノ人員將校以下一、二、七、名



十月七日
大塚日晴
伊江島

一 中隊の全カヲ以テ終日陣地構築ヲ行ス
二 勤務奉仕トシテ中等學校生徒八名及伊江村民
三 四名ヲ受テ中隊(配屬工兵小隊含ム)將兵ト共
ニ陣地構築ヲナシム
三 中隊長出張中トシテ歸隊ス
四 本日の人員中隊長以下一ニ八名

十月八日
水原日晴
伊江島

一 一七〇名中隊全員集合トシテ大塚隊長日次中隊ヲ
ニ 勤奉仕中隊(全カ)ヲ以テ陣地構築ヲ續行セリ
三 中等學校生徒八名及伊江村民八名ノ勤務奉仕
ヲ受テ中隊(配屬工兵小隊含ム)將兵ト共ニ陣地構
築ヲナシム

十月九日
西作命
第四九號

西作命第四九號受領
伊江島地區隊命令披露
一 本月八日(四)ヨリ陸査附近ニ於テカソリニ戦法
ノ基礎研究ヲ實施ス。然而研究委員ハ出陣
研究ニ從事スヘシ
二 尙一般將校之勉メテ出陣スヘシ
三 本月十日(六)ヨリ約一時間野戰車戦闘ニ関スル
幹部教育ヲ實施ス
四 然而分隊長以上ハ後場前ニ集合スヘシ
五 西作命第四九號ニ基テ研究委員タル中隊長研
究ニ從事ス。尙一般將校トシテ水原各少尉出陣
六 本日人員中隊長以下一ニ八名

十月九日 一〇六三〇ヨリ約一時間射撃車戦闘二回ニ終射教育
 水層日量
 夜間
 六頭迄詰中隊八名力ヲ集メテ陣地構築ヲ續行セリ
 三中等學校生徒及伊江村民ト勤勞奉仕ニ去名ヲ受
 ケ中隊(配屬工兵小隊含ム)將兵ト共ニ陣地構
 築ヲヤケガシム
 四日命令第八〇號 受領 伊江新地
 二頭迄詰ニ為 陸軍中隊 山寺久吉
 同 上等兵 高橋大輔
 同 同 一島文義
 事務連絡ノタメ各獲憲兵分駐所ニ出張ヲ命ス
 四日直轄ニ巡察將校左ノ通り服務スルニ
 月日 直轄將校 巡察將校

十月七日	諸江大尉	井上少尉
同 十日	小川中尉	小寺川少尉
同 十日	岡井中尉	中澤少尉
同 十日	山寺中尉	市橋中尉
同 十日	竹田中尉	三浦准尉
同 十日	高橋中尉	平松中尉
同 十日	諸江大尉	安心院少尉
同 十日	小川中尉	加藤中尉
同 十日	岡井中尉	渡邊中尉
同 十日	山寺中尉	棚瀬中尉
四日命令第八〇號ニ基キ中隊長出張スルニ補先 十中隊命令ヲ左ノ如ク下達ス		
中隊命令	陸軍少尉 鈴木利平	

不達命令
 中隊命令

右者中隊長若不在同中隊長代理ヲ命ス
五西日命第八號ニ委テ中隊長以下三名ヲ派ス
又水日一人員鈴木少尉以下一二五名

十月十日
全書
伊江野

一頭目ハ野田伊江野後為前ニ於テ下士官以上ニ對シ對戰
車戰術ヲ法ニ因テ新ヲ教育ヲ實施セラレ夜出
中尉以下一八名ヲ派ス

伊江野
第八號

六年前午後英陣地捕獲ヲ戰力増強ノためノ創意工
夫ト定メラレ全營ヲ振起シ創意工夫ニ勉ム
五西日命第八一號受領 伊江野
伊江野地區隊命令ヲ披革
一頭目三ツツ 陸軍軍曹飯佐善八郎
同 上等兵鈴木利武

下達命令
中隊命令

同 一等兵 大園 健一
軍務教育參加ノため伊江野守上部隊ニ命ス
給養ニ對シ日ト夕食ヨリ守上部隊ニ於テ受クハシ

四中隊命令
一週番士官 陸軍少尉 水野 谷正雄
同 下士官 同 軍曹 佐藤 良雄
同 上等兵 同 兵長 小林 茂久
右頭目ノ通リ來週ニ番勤務ニ服務スヘシ
又水日一人員鈴木少尉以下一二五名

十月十日
全書
伊江野

一頭目ハ野田伊江野後為前ニ於テ下士官以上ニ對シ對戰
車戰術ヲ法ニ因テ新ヲ教育ヲ實施セラレ夜出
中尉以下一八名ヲ派ス
六西日命第八一號受領 伊江野
伊江野地區隊命令ヲ披革

奉命
向作命
第五卷

伊江野地部隊命令草案

一各隊ハ本十日中ニ由己中隊陣地内ニ自カヲ以テ
貯水槽ヲ構築スル準備ヲ完了スヘシ

特ニ伊江城山周邊ニテ各隊ニ一隊ヲ小隊ヲ
トスニ由水ヲ天然物ニ貯水シ得ル如ク計畫準備
スヘシ之ヲ工事着手ハ一隊ニ事ト併行ニ成可小

隊人員ヲ以テ行ハ十月中ニ完成スルモノトス
地區隊長 西村 大尉

二西隊命令第五號ニ基テ各小隊ヲ基集ニ自己陣地
附近ニ貯水槽ヲ構築スルモノ者長以上地務領

察ヲ以テ之ヲ經ル
四下下官以下ハ終日並リ戦力増強ヲシテノ創意工夫ヲ
武器被服ノ手入ヲナス

五陸軍衛生局長安野重雄向ニ命第八號ニ基テ

奉命
向作命
第五卷

大原水部兼務ヲ命セラルレ醫務長ニ於テ職務ス
六水日ノ人員鈴木少尉以下一ニ五名

一頭ニ此語中隊ニ部ヲ創意工夫ニテ主カヲ以テ陣地構
築ヲナス
二氣温極度ニ低下シタルニ付感冒預防対策トシテ

將校以下ニ對シテ左ノ通り實施セシム
ハ乾布摩擦ノ勵行 由作業後發汗者ノ福

袴ノ着居 由寒冷ノ防止 由不潔番ノ積極的
服務

六本日ノ人員鈴木少尉以下一ニ五名

十月十日
月曜
伊予島

一 類記中隊、陸地構築ヲナス

二 勤務奉仕トシテ國民學校生徒七五名、中等學校生徒九名、伊江村民八名ヲ受ケテ中隊（配屬工兵小隊含ム）將是ト共ニ陸地構築ヲテカシム

三 西日命第八〇號ニ基テ中隊長以下五名出張中ノト
四 西日命第八三號ニヨリ四泊ト訂正セラレ本日歸隊ス

四 西日命第八一號ニ基テ二等兵鈴木利式出張ス

五 西日命第五五號ニ基テ友領 伊江島駐

伊江島陸地軍區隊命令

一 陸團八〇列冊、隊第一八八〇部隊所屬担任地域四ニ於ケル軍重要施設警防實施要領ニテ以テ陸地軍區隊警防ヲ強化ス

二 陸地軍區隊ハ前項ニ基テ左記要領ニヨリ秘匿地域

陸地軍區隊命令
西日命
第五五號

一 警防ヲ實施セシム

左記

一 島内ノ特定秘匿地域ト一般秘匿地域トニ區分シ

其ノ境界、主入禁地ノ制札樹立ノ個所別表ニ

由テ陸地軍區隊ニ基テ警防ヲ實施スル本島ニ出入

スル者ヲ監視スルト共ニ十月二十日以後所

要ノ巡察ヲ派遣シ居住許可證又ハ主入許可

證ヲ持券セカル者ノ取締リニ任セシム

二 各隊陣地構築ノ際工事援助者ノ特定區域ニ

入りハ各隊各ニ指揮者ノ引率ニヨリ出入スルニ

ノトシ其ノ單獨行動ハ許サス

三 大隊副官ハ居住許可證及主入許可證ノ支

付社ニ主入禁地ノ制札樹立ヲ十月十九日迄

ニ完了スルニシテ居住許可證出入許可證交付

ノ手續ノ細部ハ別ニ訂定スルニ
 伊江島地區隊長西村徹中
 下達法各隊命令受領者ヲ集メテ遺筆記セシム
 六本目ノ人員中隊長以下一ニ七名

七月十四日
 火曜日晴
 伊江島

- 一 頭目 中隊長カヲ以テ陣地構築ヲナス
- 二 伊江村氏ノ勤務奉仕之者ヲ受ケ中隊長(配屬機因
 銃小隊司令)ノ指示ト共ニ陣地構築ヲナシム
- 三 大隊長カヲノ要望並ニ諸注意ヲ其ノ要首カ如シ
- ハ 各勤務者ノ服務態度ノ厳正
- ニ 島嶼守備ノ軍紀風紀ニ就テ
- 三 起床時ノ確實及諸規定ノ履行
- 四 陣地構築ニ就テ



七月十五日
 水曜日曇
 伊江島

- 一 舊陣地ハ勝チノ遺スカ如ク行爲ヲ許サス
- 二 軍歌ノ勵行
- 三 中隊長ハ日夕点呼時各員ヲ集合セシメ右大隊長並
 是等項ヲ傳達シ徹底ヲ期ス
- 四 本目ノ人員中隊長以下一ニ七名
- 五 八時ヨリ約三時間ニ亘リ幹部教育ヲ實施セラレ
 中隊長以下一九名出席ス
- 六 頭目 中隊長ハ午前中下士官以上隊員ニ陣地構築ヲナス
 三勤務奉仕トシテ中隊長學校生徒八名及伊江村氏六ニ
 名ヲ受ケ中隊長(配屬機因銃小隊司令)ノ指示ト共
 ニ陣地構築ヲナシム
- 七 四頭目 各ガソリン取扱法研究委員ノガソリン取扱

後領命令
西日
第三卷

ニ因テル研究ヲ本部ニ於テ實施セリレ研究
委員タル中隊長長田中尉出席ス

五西日命令第三號受領
伊江島地區隊命令發給
陸軍兵長 鈴木 彌江

右者明テ本日隊第一八八〇部隊勤務ヲ命ス
依而十六日夕會ヨリ同部隊ノ給養スルヘシ
本日ノ人員中隊長以下一七名

十月十六日
木曜日
伊江島

一 頭等中隊長陸地構築ヲ續行ス
二 勤務委任トシテ中等學校生徒七名但シ平日及伊江
村民一九名ヲ愛シテ中隊長屬機因銃小隊命令ノ將兵
ト共ニ陸地構築ヲナシム

不達命令
中隊長令

八中隊長命令
一 敵ハ西日命令第五四號ニヨリ示サレタル通り
山中隊ハ西日命令第五四號ニ基テ對空監視ヲ増シ

六 西日命令第八三號ニ基テ鈴木彌江隊第一八八〇部隊
勤務トシテ出發ス
七 西日命令第五四號ニ基テ中隊長ハ直ニ各小隊長
ヲ招致シ命令ヲ傳達シタル後左記中隊長命令ヲ下
達シ夫々實行セシム
五 頭等小隊長中尉長等ノ下ニ幹部教育ヲ實施
セラレ鈴木彌江以下五名出場ス
四 八〇〇日陸地構築ノ地形偵察ノタメ中隊長ハ傳
令一ノ陣ハ陸地及美射附近地形ヲ細部偵察ヲ
ナシテ刻歸隊ス

ントス

四第三小隊長ハ明十七日六時ヨリ九時ニテ兼子
ヲ示セル位置ニ對シ監視有テ配置ニ對シ監視
視ニ任セシムルニシ

四細部ニ因シテハ別ニ示ス

山兵各隊ヲ集積シテ分隊ヲ一層徹底セシムル
次第ヲ明テ七月十六日ヨリニ中隊長ニ筆記(要
圖)報告スヘシ

中隊長 山崎中尉

九衛生ニ因シテハ衛生ニ感胃隊防衛策トシテ衛隊以下ニ
對シ實行目標ヲ樹立シ之カ指導監督ヲ行フニテ
カ更ニ衛生會報アリ、中隊長ニ衛生ニ留意シ
事達感テキヤ期ス

又本日ノ人員中隊長以下一ニ七名

十月七日
全隊
作江島

十月八日
土曜
作江島

一 衛生ニ因シテハ衛生ニ感胃隊防衛策ヲ行フ

二 向渡合第一號ニ基テ整備演習ヲ實施ス

三 演練ニシテハ隊員ノ如シ

四 對敵攻撃(因及手ノ動作)

五 敵ノ對シテ紅蓮ニテ行フ整備陣地ノ轉移動作

六 整備演習終了後偵察ニ陣地構築ヲ行フ

七 軍務教育參加ノタメ出張中ノ鈴木利武教

育終了ニ付歸隊ス

五本日ノ人員中隊長以下一ニ七名

一 衛生ニ因シテハ衛生ニ感胃隊防衛策ヲ行フ

二 向渡合第一號ニ基テ整備演習ヲ實施ス

三 演練ニシテハ隊員ノ如シ

四 對敵攻撃(因及手ノ動作)

五 敵ノ對シテ紅蓮ニテ行フ整備陣地ノ轉移動作

六 整備演習終了後偵察ニ陣地構築ヲ行フ

七 軍務教育參加ノタメ出張中ノ鈴木利武教

村氏ニハ名ヲ受ケ中隊(配屬機回銃小隊含ム)ノ
將長ト共ニ陣地構築ヲナシム
三本日ノ人員中隊長以下一七名

(四)

青十九日
日曜日
伊止島
一〇六〇〇リ約五分同ニヨリ中隊長將兵ニ對シ中隊長
左ノ如ク要望シテ盡ク盡忠奉公ニ試メ致サントス
一〇軍紀風紀嚴正 一〇作業徹底

一〇全員肉攻手トシテノ技倆ヲ練磨セヨ

一〇個人衛生ニ注意シ一兵ト雖モ病ニ覺ルナ

一〇訓練中隊ハ全カク以テ陣地構築ヲ續行ス

三伊江村氏ノ勤務奉仕セ七名ヲ受ケ中隊(配屬機

回銃小隊含ム)將兵ト共ニ陣地構築ヲナシム

四機回銃小隊トシテ兵士ノ軍曹以下五〇〇〇リノ隊務ス

五一六〇〇リ實地ノ第八中隊正面ノ防備隊對シ
見學シテ中隊長以下將校全員及各小隊ヨリ下上
官各一名ヲ出陣セシム

六本日ノ人員中隊長以下一七名

一〇訓練中隊ハ全カク以テ陣地構築ヲナス

二伊江村氏ノ勤務奉仕セ七名ヲ受ケ中隊(配屬機回

銃小隊含ム)將兵ト共ニ陣地構築ヲナシム

三午前カソリニ機回銃研究演習ヲ燈臺附近ニ於テ

實施セラレシ之ヲ研究シテ中隊長出陣ス

四一〇〇〇創意工夫ニヨリ試作品ヲ地置隊本部ニ提出ス

五本日ノ人員中隊長以下一七名

七月十日
月曜日
伊止島

(三)

五月五日
火曜日
伊予島
警備命令
西日命
第九ノ號

西日命第九ノ號受領 部隊本部
伊予島地区部隊命令被奉
ハ本ノ日ヨリヨリ部隊本部前庭場ニ於
テ訓示ヲ行フ。取而各隊ハ同時ニテ同所集
合スヘシ服装ハ軍装トス
ハ前項ノ訓示終了後(概テ七時)大通リニ於テ
閱兵ヲ實施ス。閱兵時ニ於ケル中隊ノ指揮ハ
先任隊長トシ中隊長ハ補助官トス
ハヨヒヨリ約(時間)下士官以上ニ對シ戰術教育
ヲ實施ス。依而部隊本部前ニ所屬ノ筆記
具簿ヲ集合スヘシ
ハ本ノ日第九中隊正面(新屋方面)地区隊長
指導、下ニ他地構築ヲナス

依而各隊ヨリ下士官下士名ヲハシラシテ大
副官ノ下ニ差出スヘシ(此更給ウ)
ハ西日命第九ノ號ニ基キテ中隊長以下全員本
前庭ニ集合シ地区隊長ノ訓示ヲ受ケタル後服装
検査及閱兵ヲ實施セラレタル後解散ス
ハヨヒヨリハリウウ島ニ於ケル戦術ニ基キ下士官以
上ニ對シ戰術教育ヲ實施セラレ中隊長以下一
名出場ス
ハ西日命第九ノ號ニ基キ下士官以下ニ
名ヲ大副官ノ下ニ差出シ主カテ中隊地区
構築ヲナス
五ガソリン戦法研究ノタメ中隊長以下四名燈臺附近ニ
至リ終日研究ニ從事セリ
ハ本日ノ人員中隊長以下一ノ七名

青島
水曜日
伊江島

一 砲台の中隊ハ陣地構築ヲ續行ス
二 砲台の壁を各澤伍長以下二名ヲ鈴木少尉ノ下ニ差
出シ同官ノ指揮ニ入ラシム

三 八〇〇電燈塔附近トシテ二階堂ニ軍曹以下五名取寄ス
四 燈臺附近ニ於テガクリンヲ加味スル研究演習ヲ實
施セシレ中隊長以下四名ハ六〇〇米發之ニ参加ス

五 西日命第九二號受領 伊江島
伊江島地區隊命令拔萃
山頭ニシテ三泊 陸軍少尉水野各 正雄

右者隊第七八五ニ部隊ニ於テ實施ノ幹部教
育專習員トシテ参加ヲ命ス

六 本日ノ人員中隊長以下一ニ七名

青島
西日命
第九二號

青島
本隊
伊江島

一 砲台の中隊ハ全カヲ以テ陣地構築ヲナス

二 伊江島ノ動勢未定トシテ各ヲ受テ中隊(西屬機関銃小隊
含ム)ヲ受テ各陣地構築ヲナセシム

三 西日命第九二號ニ基テ幹部教育專習員トシテ水野
谷少尉参加ス

四 西日命第九二號受領 一部隊本部
伊江島地區隊命令拔萃

一 地區隊ハ砲台ニ各電燈塔附近カクリンヲ加味スル
戰術法研究演習ノ次果ニ基テ海岸地帯(救生陣

地田中陣地及山田陣地)ヲ急遽ニ強化セントス

二 第九中隊長ハ中隊長主力(鈴木小隊長)現陣地構築ヲ
續行)主力ヲ以テ明ニ西日命ノ者分ノ同夜生小隊ヲ

西日命
第九二號

1

併に指揮之役生伴地、陣地強化に任スルシ

工長小隊ノ主力ヲ協力セシム

五ノ二ヨリ約同ニシテ、中隊陣地正面ニ於ケル防禦戰

闘ニ關シテ上官以上、研究及中隊長諸情況ニ基キ指

導ヲ實施ス

六幹部教育終了後、西隊命令第五五號ニ基キ中隊長

ノ意向ヲ察知シテ、後諸準備ヲナシム

第七日、人員中隊長以下一ニ七名

西隊
金澤
伊江島

一	中隊長西隊命令第五五號ニ基キ、後夜燈検査附近ニシテ
二	夜生伴地強化作業ヲ實施シ、九ノ二ヨリ歸隊ス
三	伊江村民、勤務奉仕七五名ヲ受テ鈴木小隊(配屬機回)
四	鈴木小隊ニ、將吏トシテ陣地構築ヲナシム

下連命令
中隊命令

六大隊本部勤務中、中隊長西隊命令第九四號ニシテ、佐藤

四中隊命令

一週番上官 佐軍少尉鈴木利平

同 下上官 同 兵長 芳賀六郎

同 上等兵 同 兵長 小林茂久

右頭書ノ通り來道ニ番勤務ニ服務ス(三)

五本口、人員中隊長以下一ニ七名

青木
上野
伊江島

一	中隊長鈴木小隊ヲ現任務ヲ續行セシム、主力ヲ以テ夜生伴
二	地強化作業ヲ實施ス
三	六伊江村民、勤務奉仕七五名ヲ受テ鈴木小隊(配屬機回)
四	鈴木小隊ニ、將吏トシテ陣地構築ヲナシム

警令
四日命
第九五號

六 道巻到官トシ藤田中隊長 道巻官トシ鈴木少尉
同下官 芳賀隊長 同下官 小林隊長 又ニ各職務ス
四 四日命第九五號受領 伊江島

一 職明テ有テ一等ノ合警署長トシ道ヲ職務スハトシ

結 成

四 令 下官一 歩哨八(長者ヲハ上等者一

歩哨一(二等者六 制八十一

位置部隊不許可

第二合警署長初級

四 令 下官一 歩哨八(上等者一

歩哨一(二等者六 制八十一

位置部隊不許可 細部道巻司令ヲシテ指示セシム

四 四日命第九五號受領 伊江島トシテ指示ス

警令
四日命
第九五號

五 警署新長トシ須田中隊長トシ各職務ス
六 幹事教育ヲ人出展中ノ木下少尉ヲ職務ス
七 本島ノ人員中隊長以下ノニ七三

一 中隊長依然若シテ現任地構築ヲ履行セシム主カラ
以テ發生陸地ノ強化作業ヲ實施ス

二 伊江島村民ノ勤務奉仕トシテ受ケ鈴木小隊長(配屬機
因能小隊長)ノ將兵トシテ陸地構築ヲテウチシム

三 午後中隊長ハ地区隊長ニ相致サレ道ケニ發生陸地
構築ヲ中止シ地区隊長ノ下ニ至リ轉進ニ因リ

諸要ノ指示ヲ受テ

四 中隊長ハ四日命以上全頁ヲ集合セシメ警署
準備ニ因リ諸要ノ指示ヲ受テハ九日後防謀ニ因リテ

八萬全ヲ期スハキ注意ヲ要ス
 五隊ハ中隊ニテフス忠志者發見シタルニ付地區係ハ
 第三期防疫ヲ實施セラルレ中隊ニ於テ防疫本
 員トシテ水準各少尉同助手トシテ齋藤軍中一
 命ニ防疫ニ萬全ヲ期ス
 六本ヨリ人員中隊長以下一ニ七名
 六中隊ハ全カヲ以テ轉進準備ヲナス
 六二七三ヨリ砲戰準備ヲ解除セラル
 六本ヨリ人員中隊長以下一ニ七名
 青島人ヨリ一〇七〇軍官民合同警備演習ヲ實施セラルル對空戦闘

十月廿七日
 伊江島

大連口滿
 伊江島
 十月廿九日
 水曜日晴
 伊江島

北ノ浦大訓練ヲ演練ス
 六二七三ヨリ中隊長指導下ニ對戰車由彈藥擊入
 作ヲ訓練ス
 六本ヨリ人員中隊長以下一ニ七名
 四二八〇第一倉倉庫街共トシテ高橋任長以下九名第
 二倉倉庫兵トシテ村上任長以下九名夫々服務
 一週ニテ指揮艦及各小隊毎ニ對戰車由彈及擊入
 作ヲ反復演練實施セラル
 六二八二ヨリ中隊長ハ三浦津村ヲ隨行地區隊長ノ下ニ
 至リ轉進一團ニ諸要ヲ指示ヲ受ケ
 六二四二ヨリ橋上推進射砲中隊陣地前ノ防禦戰術
 演習完畢シタル下七官以上全員出席ス



四一六〇〇リ中隊長指導ノ下ニ對戰車内彈攻撃ノ
 動作精ニ檢査近接シテ不意ニ爆藥投擲ノ如
 作ヲ反復演練ス
 五本口人員中隊長以下一二七名

七月三日
 水曜日
 伊江島

一西隊命令第九號受領
 伊江島地區隊命令拔萃

陸軍兵長 渡邊 透

西隊命令
 第五九號

右者獨混一五隊命令第七號第四項ニ基テ新仕地
 ニ先行シ引越及設置ニ任スヘシ
 服裝ハ完全軍裝トシ種練十日分及夜間進行ト
 ス依而明三日七〇〇ニテ部隊本部ニ至リ所要
 ノ指示ヲ受クヘシ



(四) 陸軍少將 平石 重市

右者明後七月日渡久地ニ至リ左記兵力ヲ指揮
 三連絡ニ任スヘシ

左 記

第九中隊下士官以下一分隊七月二日出發
 服裝ハ完全軍裝トシ種練ニ進ム分及夜間
 進行トス

六西隊命令第五九號ニ基テ兵長渡邊 透新仕地
 三中隊八年前午後對戰車内彈攻撃ノ動作ヲ反
 復演練ス

西隊命令
 第九九號

四西隊命令第九九號受領
 伊江島地區隊命令拔萃
 陸軍上等兵 鈴木 榮
 右者明七月一日ヨリ當分ハ同制村トシテ渡久地

ニ至リ部隊本部隊水中射ノ指不ヲ受クハシ
 服裝完全軍裝トシ種族ニ道同分獲異擧行トス
 五合營衛兵左ノ日割ニヨリ服務スハシ
 十月十日第三機團銃中隊 駐隊砲公隊 工兵小隊
 十月二十日第七中隊 十月二十日第八中隊
 十月二十四日第九中隊 十月二十五日獨上機團銃
 中隊 十月二十六日獨上連射砲中隊
 十月廿六日第九八號ニヨリ陸地構築用水材伐採ノ
 タメ派遣中ノ柳田一以下四名歸隊ス
 本日の人員中隊長以下一三〇名